

ルボナーな1日



自慢のカメラの解像度があまりにもすごいので「ドヤ顔」になっている松本さん。(写真上)

遂に買うてしもうたソニーのええやつ!

松本さんはカメラが好きだ。何がそんなに面白いのかよくわからんが、とにかく結構いっぱい持っている。しかも結構玄人好みのものから、どう使うのかわからんやつまで結構よりどりみどりだ。お店の一角はほぼ元町カメラ店内状態であり、お店に行ってもカメラの話で盛り上がり、商品の話で不機嫌になる。

このお店は一对何屋なのか、どきどきわからなくなる。そんな松本さんがまたまた懲りずにソニーの最新機種に手を出した。(写真上) この喜び様!! (写真左下) いっそカメラマンになった方がよかったのではないかと

思われる。もっともこの機種の場合、松本さんが喜ぶのもわからないではない。というのは本機種はフルサイズであり、画素数も現在の最高位にある。今のライカのデジカメよりも1千万画素も多く、しかも価格はその4分の1という優れもで、しかもセンサー作りの第1人者であるソニー製だ。

それはこれまでMレンズを使いつつ、ライカのデジカメはちょっとと思っていたすべての人(特に予算的に、又は奥さんとの関係において)にとり朗報でもあり、フルサイズのライカデジカメを購入できないやせ我慢から開

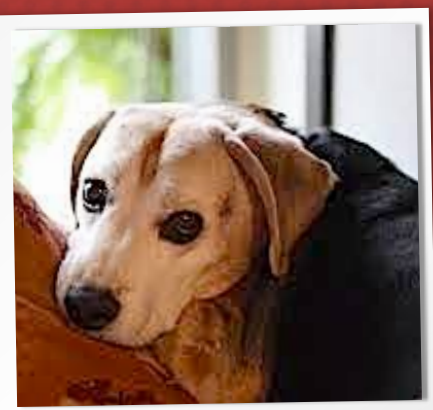
放されることを意味する。特にいい50MMレンズを持っている人にとって、これまでのAPSサイズで強いられていた抑圧的な画角拡大強制システムの下で虐げられてきた過去からの開放だ。いや解放だ。うらやましい私としては松本さんにせいぜい「解像度がいいだけがいい写真とはちがいますよ～」とか「うまい人はカメラ選びませんよ～」としか反撃できず、しかもそれらの言葉の攻撃は松本さん幸せオーラによりすべて跳ね返されてしまった。(by 久保真記男)



ちょーご機嫌



心酔中



レンズ買うて。たぶん(特別出演)